

来年度の新入園児が続々と面談に来ていると同時に卒園への準備も始まっています。

3月は出会いと別れの区切りの月で、何回経験しても心がざわざわして、感情の上がり下がり激しいです。いつもできる限りの気持ちを込めて送り出したい、迎えたいと考え、試行錯誤をしています。いつもこれが最高！と思っているのですが、なかなか全員一致！とはいかないのも事実。。。でも、いろいろな考え、思いがあるから新しいものが生れ、前進するのだとも思っています。今年度もクライマックス!!保護者も、こどもも職員も、全員で盛り上げ、協力して3月を締めくくりましょう。

ちいさなたね保育園は「してあげる、してもらう」という関係ではなく、みんなで支え合いたいです。

～3月・4月の予定～

3月 1日 子育てひろば(ひなまつり)	9日 運営委員会・全体保護者会・入園説明会	12日 人形劇団どろんこ
16日 卒園式	19日 引き取り訓練	21日 1F 身体測定
4月 1日 入園式	17日 1F 身体測定	22日 2F 身体測定
	18日 2F 身体測定	25日 内科検診

～保健だより～

3月3日は耳の日です。

☆【耳の病気】

子どもが風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがよくあります。中耳の中で炎症が起こってうみがたまり熱を出すことや、鼓膜を圧迫するため強い痛みが起こります。また、鼓膜が破れてうみ(耳だれ)が出ることも。

☆【聞こえの異常】

聞こえの異常(難聴)には、生まれつき聴力が弱い場合と、病気が原因となっている場合があります。

※聞こえの異常は、言葉の育ちにも影響します。子どもは「聞こえにくい」ことに気づきにくく、正確に言えません。聞こえにくいサインを知って、早めに気づくことが大切です。

☆チェックする点

- テレビの音が大き
テレビの音を、必要以上に大きくします。
- 後ろから呼んでも気づかない
後ろから名前を呼んでも振り向かなかったり返事をしなかったりします。左右差がある場合もあります。

☆発熱など、風邪の症状に加えて

- ・しきりに耳を触る、頭を振る
- ・耳に触られるといやがる痛みや違和感のために、耳を触ったり、頭を振ったりします。また、痛みのためにきげんが悪くなったり、夜なかなか寝なくなったりします。

☆難聴の原因となる病気は？

- 滲出性中耳炎
急性中耳炎が治りきらないと、中耳にサラサラとした液(滲出液)がたまります。痛みや発熱などの症状がないため、発見が遅れることがあります。
- おたふくかぜ(流行性耳下膜炎)
原因となるウイルスが内耳(音を感じる部分)に感染して、難聴を起こします。流行性耳下腺炎の予防接種を受けて、感染を防ぐことが重要です。

～0歳児、1歳児～

【生活のねらい】

0歳児 のぼる、しゃがむ、転がるなど様々な動きを試しながら体を使って遊ぶことを楽しむ

1歳児

食事のマナーを知る(前を向いて食べる、足を下ろして食べる)

0才児もカートを使わずに歩いて散歩に行ったり、1歳児は天神平に杉山神社から上ったり、1年前からの成長を感じています。

誰かが面白い遊びを始めたら、みんなもやってみたい。何かを見つけたら、みんなにも伝えたい。できそうなことは自分で頑張ってみよう。子どもたちは、体だけでなく心も大きく育ちました。進級を控え、少しずつ環境に変化が出てきますが、日々の小さな成長を喜びながら、3月も楽しく過ごしていきたいと思っています。



～2歳児～

【生活のねらい】衣服、靴の左右を意識してみる



「友だち」という存在が子どもたちにとってのエネルギーとなっています。以前は散歩の際になんとなく友だちと手を繋いでいましたが、行く前に「今日一緒に繋ごう？」と約束をしたり、積極的に声を掛ける姿が見られるようになりました。また、一つの遊びを子どもたち同士で楽しむ姿も見られます。

様々な関わりを通して多くの経験をしてきたからこそ、より成長を感じます。

生活面では朝の支度を保育者と一緒にやってみています。最初から最後まで子どもの力で言うことだけに目を向けるのではなく、身の回りのことをしようとする姿や、部分的にでも自分でやることのできた過程を子どもたちの自信にしていけたらと思っています。

困ったときや手伝ってほしい時には保育者になにかしらの表現で伝える力も身に付いてきています。これらの自信を進級への喜びや期待に繋げていきたいです！

～3歳児～

【生活のねらい】相手の気持ちを知ろうとする。
周りの友だちの様子や表情に気づく。



2月は文化祭もあり、毎日ワクワクした様子の子どもたち。みんなで協力しながらペンキ屋さんになったり、テープ貼り屋さんになって、土台を作った動物たちはいかがでしたか？準備するたびに「早くママとパパを連れてきたい！」と言っていた子どもたちが、当日キラキラとした表情を浮かべている姿を見れてとてもうれしかったです。

2月もあっという間に過ぎ、今年度も今月で最後となりました。

残り的一か月は、少しずつ進級を意識しながらも、楽しく過ごしていきたいと思います！

～4歳児～

【生活のねらい】一人ひとりが成長を認められ、進級することへ期待感を持ち、身の回りのことを主体的に行う。



文化祭が終わった後、思い出を絵で表している子ども、楽しかった事を沢山話してくれる子ども。嬉しい、楽しい気持ちを伝える表現方法も人それぞれですね。やりたい事も人それぞれ。4つの中から選べたからこそ子ども達が主体的に取り組めるものになったのではと思います。みんなで意見を出し合い、創意工夫を凝らし、それを表現した文化祭でした。「ありがとうございました」と言った後の子ども達の笑顔は忘れられません。しかし「太鼓じゃなかったら合奏はやらない。」「ファッションショーやってみたかったけど恥ずかしくて選ばなかったの。」なんて言っている子どももいました。自分で考えて「やらない」という選択をしていますが、正直な気持ちを伝えてくれ嬉しく思います。文化祭が、終わったから綺麗さっぱりおしまいという事ではなく、衣装を作りたい子どもがいたら今後も作ったり、楽器を触ったりと少し余韻も楽しみたいなと思います。

5歳児にリードしてもらい背中を追っていた4歳児も4月からは年長児となります。ケンカも遊びも全力投球のみんながどんな年長さんになるか？楽しみですね！！

～5歳児～

【生活のねらい】自らの成長に自信を持ち、進学に期待を持つ。
友だちとの時間を大切にし、関わりを深めながら遊ぶ。



皆の知恵や力を出し合い、協力して作り上げてきた文化祭が終わりました。今回は初のステージがある事で、去年の文化祭とは趣が違いましたが、4.5歳合同でした事によってより多くのチャレンジが出来ました。それぞれがやりたい事を考えて、それには何が必要か？自分が何をすればいいか？を自ら選択して自主的に行動する事が出来ました。幼児期からこの「自主的」に行動する事が出来るなんて本当に素敵な事ですね。この1年「主体的保育」を大切にきて、最後に多くの場面で子ども達が主体的に動く姿を見る事が出来て、とても嬉しい気持ちになりました。楽器の名前すら知らなかった子ども達が、楽しそうに歌に合わせて合奏する迄に至った事もチャレンジして良かったと心から感じました。

ラスト1ヶ月は、保育園生活の集大成として、やりたい事を出来るだけして、思い残す事無く卒園に向けて駆け抜けたと思っています。